

エイト日技のパラアスリート社員と面談



濱ノ上選手（右側手前）の表敬
訪問を受けた酒井区長（左側）

東京・中野区の酒井直人区長が10日、エイト日本技術開発の社員で、パラクライミング日本代表・濱ノ上文哉選手の表敬訪問を受けた。濱ノ上選手は視覚に障害を抱えながらもパラクライミング世界選手権で複数回優勝している。エイト日技は中野区に本社を構えていることから、最近の大会の結果報告を兼ねて訪問した。

パラクライミングは障害がある人を対象にしたスポーツクライミング競技で、高さ約15メートルの壁をロープで安全確保しながら登る。現在36歳の濱ノ上選手は、26歳の頃から競技を始め、「一般事務職として働きながら競技

東京・中野区 酒井区長 小学生への講演を打診

をやっていた」（濱ノ上選手）という。

エイト日技には2022年に入社。会社のバックアップを受けながら世界で戦ってきた。5月に米国、6月にオーストラリアで開かれたワールドカップで優勝。8月のフランスでのワールドカップでは銅メダルを獲得した。出身地の京都府京田辺市などで講演活動も行っている。

酒井区長は「ぜひ中野区の小学生にもお話してほしい」と話した。「新しい学校を開設する時にクライミング用の壁を設置できないか検討したい」とも述べ、クライミングの普及に意欲を示した。

